



題字 小笠原 孝

## 第 27 号

令和元年11月1日

発行

一般財団法人  
小笠原アカデミー  
教育振興財団

理事長

小笠原 孝

〈事務局〉

〒040-0016

函館市海岸町9-18

TEL 0138-84-5396

FAX 0138-84-5397



## 地域の将来を

## 担う人づくり



函館市長 工藤 壽樹

我が国においては、世界のどの国も経験したことがない人口急減・超高齢化の時代に入っています。とりわけ将来人口に大きな影響を及ぼす出生数は、約二百十万人あった第二次ベビーブームをピークに減少を続け、平成三十年には約九十二万人となり、三年連続で百万人を割り込んでいます。そもそも、子どもを産み育てる年代の人口が減少しており、出生率が改善したとしても、出生数の増加に結びつかないという根本的な問題があります。

大切なのは、人口が減少していくという現実を直視したうえで、そのスピードを少しでも緩やかにしていくことです。

そのため、安心して子どもを産み育てやすい環境の整備や高齢者の健康増進、若者の地元への就労の促進

など様々な施策に取り組んでいるところですが、

日本の総人口が減少していく時代にあつて、これからのまちづくりは、人口や経済規模など「量」的な価値で評価される時代から、市民一人ひとりの幸せと豊かさを求める「質」の時代へ転換していくことが肝要であると考えています。

このため、地域に愛着を持ち、幸せと豊かさを感じながら安心して暮らせるまちをめざし、高齢者や障がい者をはじめ、単身生活者、子育て世帯やひとり親家庭など、それぞれの暮らしや生活の実情を踏まえた各般の施策に取り組み、市民一人ひとりの生活面、経済面、健康面にわたってレベルアップを図っていきます。

また、個人の価値観やライフスタイルの多様化、地域社会におけるつながりや支え合いの希薄化、生活の中での急速な情報化など、社会が大きく変化しているなかで、市民一人ひとりが主体的に社会に関わり、活力ある地域社会を創り出すことが求められていることから、今後も市民が生き生きと学び続けることのできる環境の整備に努めるとともに、郷土の歴史と文化に誇りをもちながら地域の発展を支える人材の育成をめざし、取り組みを進めていきます。

このほか、持続可能なまちづくりを進めていくためには、本市の経済を支え強化することや快適で魅力あるまちづくりも重要です。

陸・海・空の交通の要衝という強みを生かしながら、インバウンドをはじめ交流人口のさらなる拡大を図るとともに、AIなどの最新技術を生かした地元企業の収益力の向上や、基幹産業である水産業の基盤強化などに積極的に取り組み、地域経済の活性化を図っていきます。

さらに、豊かで美しい自然環境や、

縄文遺跡群などをはじめとする文化遺産など、多くの地域資源に恵まれ「魅力的な都市」として高い評価を受けるまちの魅力をさらに高めるため、今後もデザイン性の高い都市空間や花と緑にあふれる町並みの整備を進めていきます。

少子高齢化の進行や人口減少により、地域を取り巻く状況は、依然厳しいものがありますが、私は「活気に満ちたまち、歩いて楽しいまち、訪れたくなる美しいまち、住む人によさしいまち」をめざし、「市民一人ひとりの幸せづくり」と「地域経済の強化」を最大のテーマとして、函館のまちづくりに取り組んでいきます。

一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団ならびに関係機関の皆様の一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

## 学校図書 の 充 実 を 目 的 と す る ( 書 籍 ・ 書 架 一 式 を 5 校 へ 贈 呈 )



●小笠原孝理事長より生徒に向けて、図書に親しむことが大事と挨拶があり、その後、生徒代表より謝辞が述べられました。

### ■推薦・函館市教育委員会・渡島教育局

函館市立青柳中学校	校長	松田賢治
函館市立巴中学校	校長	佐竹聡
函館市立五稜郭中学校	校長	木村雅彦
北斗市立久根別小学校	校長	白石真嗣
七飯町立峠下小学校	校長	西谷さおり

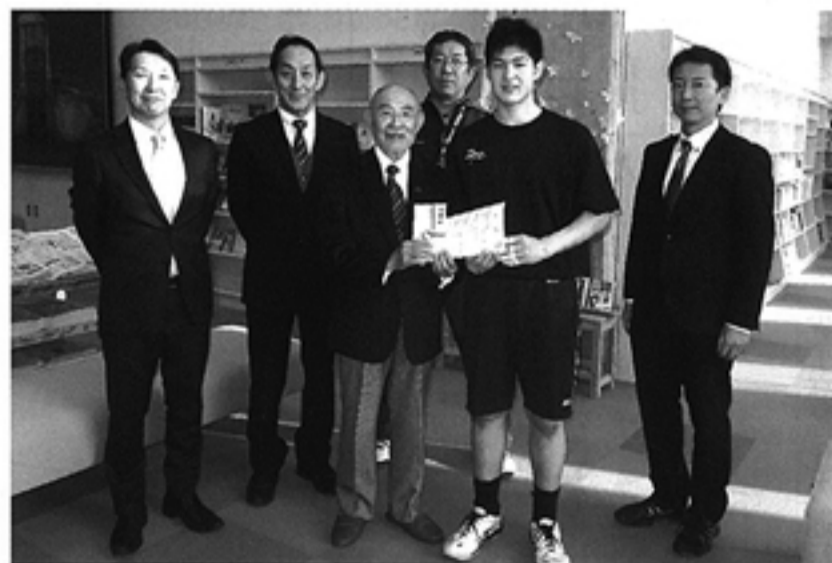
### 贈呈式〈平成31年1月26日〉五稜郭中学校に於いて

《出席者》 贈呈先学校より、(生徒会・児童会)代表役員

北海道教育庁渡島教育局	次長	宇美敏弘
函館市教育委員会学校教育部	課長	小笠原学
北斗市教育委員会	次長	岡村弘之
七飯町教育委員会	教育長	與田敏樹

### 《第14回春の全国中学校ハンドボール選手権大会》

北海道代表として出場する、函館市立巴中学校ハンドボール部へ  
小笠原アカデミー教育振興財団より遠征費用として助成金贈呈



小笠原孝理事長・中央(贈呈式)

### 函館市立巴中学校ハンドボール部 主将 加賀谷柊斗

全国大会ではベスト8の活躍、さらに加賀谷君は日本ハンドボール協会(将来の日本代表を育てる)  
「ナショナルトレーニングアカデミー」の欧州遠征に、中学生では全国唯一に選出され参加する。  
左より・小田剛智教頭・佐竹聡校長・小笠原孝理事長・三浦力監督・加賀谷主将・中島宏幸指導部長

### 《北海道教育庁 渡島教育局より感謝状》

福田製作所(浅野町)福田洋一社長に、同局の五十嵐 晋局長より  
小笠原アカデミー教育振興財団が行う書籍・書架贈呈活動に協力

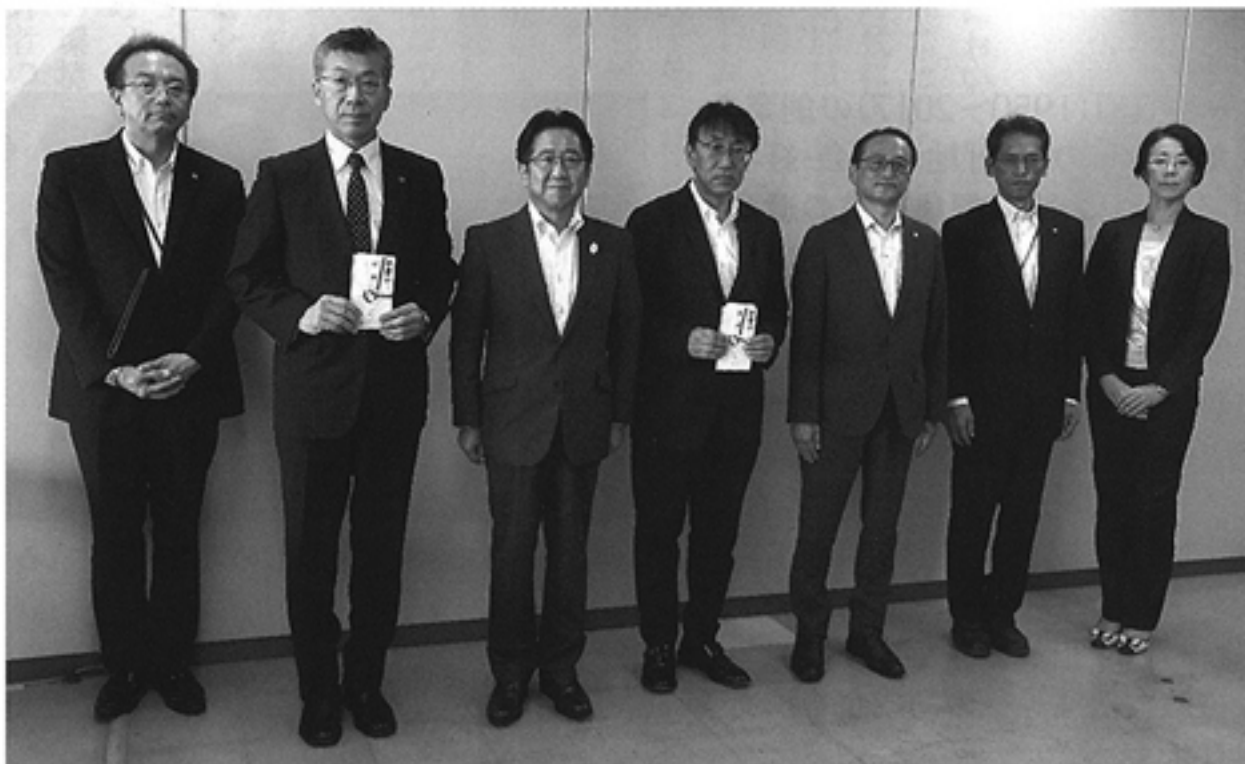


感謝状贈呈式で記念撮影 五十嵐局長・福田社長・小笠原理事長

渡島教育局は子どもたちの読書推進に貢献したとして感謝状を贈った  
福田製作所は、小笠原アカデミー教育振興財団(小笠原孝理事長)が2015年から道南の小中学校に  
対し、図書と本棚を贈る活動に協力。これまでに16校に寄贈された本棚制作のすべてを担ってきた。  
書籍・書架の寄贈は、今後も函館市教育委員会・及び渡島教育局の協力のもとに継続していきます。

### 第58回北海道中学校理科教育研究会函館大会

自然と人間との調和をめざし、未来を創造する力を育む理科教育  
10月18日・深堀中学校に於いて開催・開催費用として助成金を贈呈



小笠原学教育課長・木村雅彦校長・小笠原勇人・鈴木敏文校長・松田賢治学校教育部長・吉本憲弘生涯学習部次長・小棚木こずえ尾札部中教頭 会長(木村雅彦・五稜郭中校長)へ助成金目録贈呈

### 第63回全国特別活動研究協議大会函館大会

多様な他者と協働し、集団や社会に参画する力を高める特別活動  
8月6・7日・函館アリーナに於いて開催・開催費用として助成金を贈呈



小笠原アカデミー教育振興財団(小笠原常務理事)より  
会長(鈴木敏文・本通小校長)へ助成金の目録贈呈



会長(木村雅彦・五稜郭中校長)へ助成金目録贈呈

### 教育の振興期間等への助成金一覧

1	H25	07-11	函館市英語教育研究会・小中高(教材購入費用)
2		07-12	上磯小学校吹奏楽部・東日本中学校吹奏楽大会(出場遠征費用)
3	H26	03-17	函館圏フリースクール「すまえる」・ブックシェアリング(本権購入費用)
4		05-29	日吉が丘小学校金管バンド・日本管楽合奏コンテスト(出場遠征費用)
5		07-22	北海道学校体育研究会・函館大会(開催費用)
6		10-14	戸倉中学校吹奏楽部・全日本吹奏楽コンクール(出場遠征費用)
7		10-31	高丘小学校吹奏楽部・全日本管楽合奏コンクール全国大会(出場遠征費用)
8	H27	06-19	北海道中学校理科教育研究会・函館大会(開催費用)
9		07-22	瀧川小学校・体育館改築工事(代替体育教材)
10		10-09	日吉が丘小学校金管バンド・日本管楽合奏コンテスト(出場遠征費用)
11	H28	03-04	千代田小学校リコーダークラブ・全日本リコーダーコンテスト(出場遠征費用)
12		03-04	付属函館スポーツ少年団・全国バレーボール交流大会(出場遠征費用)
13		03-14	①書籍書架一式贈呈(栲栈小・栲栈中・藤城小)
14		08-20	函館国際室内楽アカデミー・国際ミュージックキャンプ(開催費用)
15		09-11	付属函館中・ラ・サール学園中 科学の甲子園ジュニア大会(出場遠征費用)
16		10-12	②書籍書架一式贈呈(北美原小・亀田中・谷川小・軍川小)
17		11-04	北海道放送教育・視聴覚教育研究会・函館渡島大会(開催費用)

18	H28	11-11	北海道性教育研究会・函館・渡島大会(開催費用)
19		11-12	遠愛女子高等学校吹奏楽部・全日本吹奏楽大会(出場遠征費用)
20	H29	04-14	函館音楽祭実行委員会・音楽祭記念オーケストラ演奏会(開催費用)
21		08-14	②函館国際室内楽アカデミー・国際ミュージックキャンプ(開催費用)
22		10-02	上磯中・ラ・サール学園中 科学の甲子園ジュニア大会(出場遠征費用)
23		10-02	③書籍書架一式贈呈(日吉が丘小・赤川中・上磯小・七重小)
24		10-20	北海道・道徳教育研究会・函館大会(運営費用)
25	H30	02-15	図書館歴史講座(会場費用、資料作成費用)
26		03-19	栲栈中学校(男女・ハンドボール部)全国選手権大会(出場遠征費用)
27		05-29	函館・盛岡藤木ゆかりの地子どもかるた大会交流事業(開催費用)
28		09-09	付属函館中・ラ・サール学園中・科学の甲子園ジュニア大会(出場遠征費用)
29		09-21	北海道国語教育研究会・函館大会(開催費用)
30	H31	01-25	④書籍書架一式贈呈(巴中・五稜郭中・青柳中・久根小・峠下小)
31		03-04	巴中学校ハンドボール部・全国選手権大会出場遠征費用
32	R01	08-08	全国特別活動研究協議大会・北海道函館大会(開催費用)
33		08-08	北海道中学校理科教育研究会・函館大会(開催費用)
34		09-18	⑤書籍書架一式贈呈(港中・北中・萩野小・大中山小)



令和元年度 定時総会 2019・7・18 函館新聞社ビル会議室に於いて

### 一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

令和元年度 役員名簿		評議員名
理事長	小笠原 孝	小笠原 康正
常務理事・業務執行	小笠原 勇人	齊藤 良昭
理事	小笠原 弘	近野 功
◇	野 又 肇	庄 司 澄枝
◇	安 島 進	羽根田 茂信
◇	橋 本 守	野 村 辰男
◇	川内谷 健三郎	成 田 豊
理事(事業担当)	平 野 利明	野 口 博 敏
理事(会計担当)	竹 内 行 雄	
監 事	齊 藤 一 雄	
◇	村 田 亮 二	

# 一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

「昭和55年設立」株式会社テーオー小笠原(1950～2017)の創業者、故、小笠原亀吉翁の意志でもあった青少年の育英「地域社会・経済の発展を担う人づくり」を具現化するために、小笠原亀吉翁の遺産の一部を基金として後継者が勸小笠原アカデミー財団を設立いたしました。

初代理事長は、(故、小笠原金悦)二代目理事長は小笠原孝となり、今日まで数多くの学生に奨学金を貸与して参りました。利用された学生達は、修学の上、教育者・指導者の道、又社会の第一線で活躍される道に進んでおられます。

その後、基金の増額として、小笠原孝夫人(故、小笠原幸子)の遺産の一部と、小笠原理事長個人の(株式、持株)の寄贈等によって更なる充実を計りました。平成24年には一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団に名称を改め、新たに教育機関等への助成金を加えまして、一段と社会貢献に努めております。



奨学金貸与で学生に励ましの言葉を話される  
理事長 小笠原 孝

令和元年度6月現在・奨学生総数198名となる  
助成金は33団体に贈呈(書籍・書架一式は20校)

## 諸君の可能性を咲かせよう

### 向学心に燃える若人へ奨学金 奨学生の募集要項

#### 【資格】

- ・原則として、道南地方の住民の子女であること。
- ・大学又は大学院、専門学校又は専修学校、高等学校に在学する者。
- ・向学心に富み、かつ修業の見込みがあること。
- ・経済的な理由により、就学困難な事情があること。
- ・将来、国家及び社会に役立つと認められる者。

#### 【貸与額(月額)】

- |                |         |
|----------------|---------|
| ・大学又は大学院       | 25,000円 |
| ・専門学校又は専修学校、短大 | 20,000円 |
| ・高等学校          | 15,000円 |
- ※奨学金は原則として、6ヶ月分を一括貸与する。(年2回)

#### 【返還】

- ・奨学金の貸与が終了した日から1年を経過した日以後、貸与を受けた年数の3倍の期間内に返還すること。
- ・返還方法は年賦、半年賦、月賦、その他の方法による。

#### 【申込方法】

- ・所定の用紙(在学学校または財団事務局に申請)に必要事項を記載し、必要とされる書類を添付の上、在学学校を通じて申し込む。

申込期間 例年:4月1日～5月末日まで

### 教育の振興機関に助成金 教育機関等への助成要項

#### 【助成対象】

- ・学校等の教育機関及び地域社会の教育の振興に関わる機関。

#### 【助成額】

- ・助成額は1案件につき事業費の50%とし、上限を20万円とする。

#### 【申請書】

- ・申請書の様式は特に問わないが、下記事項を明記のこと。
- 1、事業名称・代表者名
- 2、事業及び費用の概要・収支計画書
- 3、行政からの推薦書(函館市教育委員会・渡島教育局)

#### 【例1】

- 〇〇小学校〇〇部 全国大会(東京)へ出場が決定しましたので、旅費などの一部を助成していただきたく。

#### 【例2】

- 〇〇中学校〇〇研究大会開催における費用の一部を助成していただきたく。

#### 【例3】

- 〇〇教育団体の〇〇教材の充実を計るための費用の一部を助成していただきたく。

申請は随時受付(但し、理事会の承認後の決定となります。)

■詳しいお問い合わせは当財団事務局(連絡先)へ

〒041-0061 函館市海岸町9-18 電話 0138-84-5396